

平成30年度 都立学校・学校経営シート

校章	 <b>都立光明学園</b>		通学区域 肢体不自由教育部門:世田谷区、目黒区、渋谷区、港区の一部 病弱教育部門:学区域は全都、全員、寄宿舎生活のため通学はしていない。
	<b>校訓 「可能性の追求」</b>		
基本情報	所在地	〒 156-0043 世田谷区松原六丁目38番27号	電話番号 03-3323-8421
	アクセス	(1) 小田急線梅ヶ丘駅下車徒歩3分 (2) 京王井の頭線東松原駅下車徒歩8分 (3)	
本情報	設置学部	肢体不自由教育部門:小学部、中学部、高等部、在宅訪問教育 病弱教育部門:小学部、中学部、高等部、分教室、病院内訪問教育	
	幼児・児童生徒数	肢体不自由教育部門:児童・生徒数 178名 病弱教育部門:児童生徒数 9名	
報	学級数	肢体不自由教育部門:小学部 22学級、中学部 13学級、高等部 13学級 病弱教育部門:小学部 11学級、中学部 7学級、高等部 5学級	
	スクールバス	肢体不自由教育部門:駒沢コース、世田谷コース、目黒コース等、15コース運行 病弱教育部門には、国立成育医療研究センター内に「そよ風分教室」を設置している。	
その他			
目指す学校	肢体不自由教育部門と病弱教育部門が有する専門性を活用し、障害による学習上又は生活上の困難に対する主体的な改善・克服や健康の回復・保持増進を図るとともに、一人一人の能力・特性等を最大限に伸ばすことにより、学園生の自立と社会参加を切れ目なく支援する学校を目指す。		

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	<b>魅力ある学園教育の創出</b> <開校時3年間のみ特設目標> 学園構築プロジェクトの推進 <学校組織で主管する部署 経営会議、教育課程・学籍部、広報部、経営企画室>	<学園一体化プロジェクト> ○併置校の良さを生み出す教育活動として、「光美展」「光書展」を創設し、通学生だけに限らず、在宅訪問生、分教室生、病院訪問生、全員が同じ仲間であるという実感につながることができた。 ○学園の一体感を醸成するために、光明祭だけでなく保護者も交えて、開校1周年記念の両部門合同音楽会等を実施した。	
目標②	<b>効率的・機能的な学校組織の確立による組織力向上</b> <開校時3年間のみ特設目標> 学園を的確に運営するシステムの構築 <学校組織で主管する部署 経営会議、教育課程・学籍部>	<学園運営システム構築プロジェクト> ○教員がより指導に専念できるように併置校業務システム開発を継続し、効率化・合理化を図った。 ⇒監督層である主幹級教員増を踏まえ、業務の分担の見直しと権限強化を行った。 ⇒主幹級教員の統括分掌と担当プロジェクトを明確にした。	
目標③	<b>専門性ある人材を活用した教育の充実</b> <開校時3年間のみ特設目標> 人材活用・協働システムの構築 <学校組織で主管する部署 経営会議、学習指導部、研究研修部>	<人材活用プロジェクト> ○S部門:専門家学習指導アドバイザーとして、人材克応した授業者支援(毎週)を、高等部に拡大した。 ○両部門:特別講師を招聘した保護者学習会「言語・文字の獲得に繋がる『考える力』を育てる」を開催し、保護者が、『「学校教育」と「家庭教育」が一体となって、学力向上につながる』ことを実感させることができた。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	27年度		28年度		29年度		今年度		31年度	32年度	33年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	関係者意識評価「併置型学園としての良さを創出している」					70%	94%	75%	83%			
目標②	専門家評価「効率的・機能的な学校組織が構築できている」					70%	84%	75%	100%			
目標③	専門家評価「専門性ある人材の活用が教育充実に繋がっている」					70%	89%	75%	89%			

2部門、2拠点、  
5指導形態による  
新たな併置校像  
相互に保有する専門性の共有

# 東京都立 光明学園

“ KOMEI-GAKUEN Bright hopes 30 ”

## 肢体不自由教育部門

## 病弱教育部門

本校拠点

分教室拠点

在宅訪問

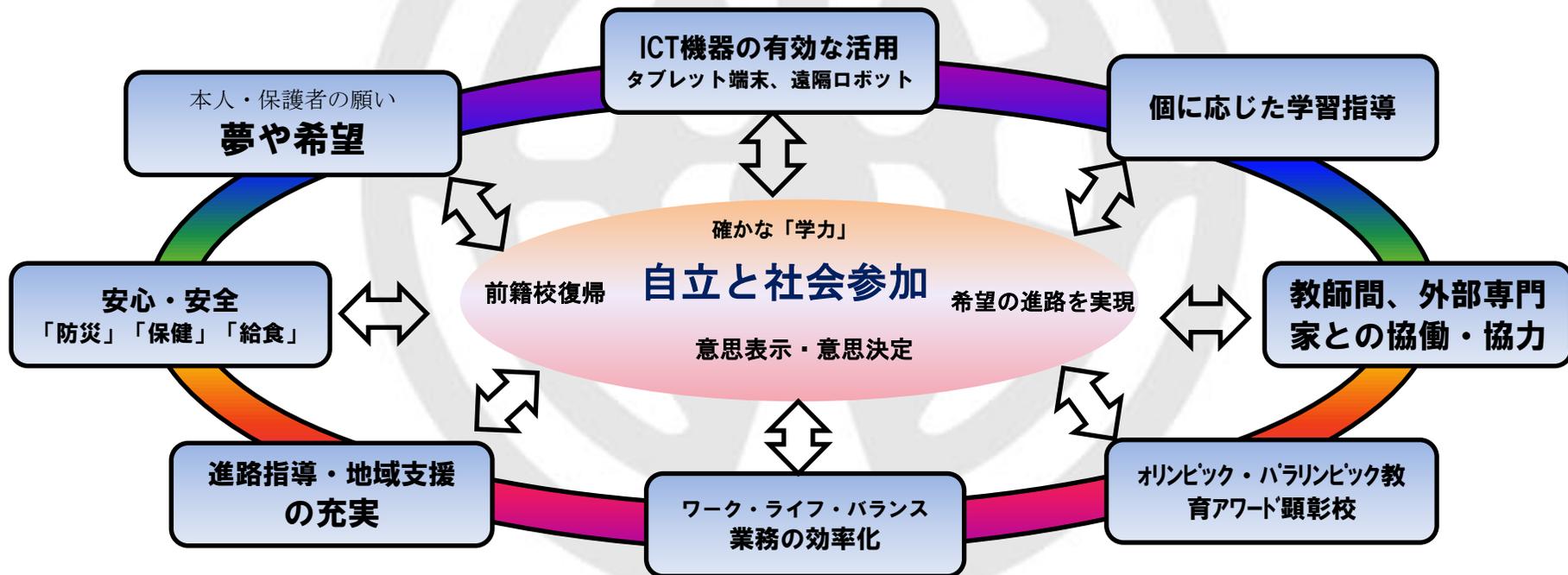
通学

寄宿舎からの通学

そよ風分教室

病院訪問

校訓：可能性の追求



一人一人の能力・特性等を最大限に伸ばすことにより、  
学園生の自立と社会参加を切れ目なく支援！